

素材VCのUMI、印で革新技术探索 現地大と連携

2023年11月21日  三枝寿一

研究開発

海外展開

提携・オープンイノベーション

新興企業

素材・化学に着目しているベンチャーキャピタル（VC）のユニバーサル・マテリアルズ・インキュベーター（UMI）は、インドの新興企業への投資に乗り出す。米中に次ぐスタートアップ大国のインドはAI・金融に続き、素材やバイオ、エネルギー分野の起業が盛んだ。同国と似た社会課題を抱えるグローバルサウスなどに国際展開も見込め、日本の化学・素材会社との協業を進めて成長を後押しする。

インドの有カアカデミア、インド理科大学院（IISc）と戦略的パートナーシップを結んだ。同大学院はタタ財閥の創始者が創設。歴史的に化学やバイオ、エレクトロニクスなどの科学技術に強く、現在は6部門43学部を運営する。同国のシリコンバレーといわれるバンガロールに所在し、基礎研究成果の社会実装を加速中だ。最近ではボーイングやシェルと共同研究を始めた。

UMIは2022年10月に3号ファンド（最終的なファンド総額は200億円を予定）を設立し、バイオやプラスチックリサイクル、グリーンエネルギー、農業などを重点投資領域に据える。石油化学工場が多いインドは8万種の化学品を生産し、カーボンニュートラル実現に向けた技術開発も活発だ。ワクチンを含む医薬品の生産大国でもあり、化学・素材に精通する技術者が豊富にいる。

UMIは同大学院から四半期ごとにシーズの紹介を受け、投資を検討する。現地のVCやインキュベーターとも連携する。UMIのファンドに出資する日本の化学・素材メーカーとの協業を図り、「日印連携によるイノベーションのエコシステムを作り上げたい」（UMIの担当者）。

UMIが海外アカデミアと提携するのは、イスラエル・ヘブライ大学のインキュベーターであるイッスム、台湾の工業技術研究院（ITRI）に続く3例目。